

細木病院

橋本 浩三 名誉院長 勇退



橋本 浩三
細木病院 名誉院長

私は9月末で細木病院の院長を退任し、1か月の引き継ぎを経て、10月末に細木病院を退職いたしました。平成20年4月から平成27年10月まで7年半余りにわたり、何とか院長職を継続することができましたのは、細木理事長より多大なご支援をいただいたのももちろんのこと、職員の皆様が私の病院運営方針に大変協力をしてくださったお陰です。とりわけ西岡、上地両副院長、白神診療部長、宮地事務部長、松澤看護部長をはじめとする幹部会の皆様や、診療運営会議のメンバーである各部署の部門長や所属長、役職者の皆様には、病院運営の色々な面でお支えいただきました。

私は就任以来、チェンジ・チャレンジの精神で、病院の改善すべき点や課題に積極的に取り組む方針を職員の皆様に伝えて協力を依頼し、皆様もそれに応えて協力をしてくださいました。その主なものを振り返ってみますと、次のようなことがありました。



中国延辺大学附属医院訪問にて
(平成22年8月26日)

① 活力があり、やりがいのある働きやすい職場作り
第二次救急医療を開始し、救急向上委員会を立ち上げました。また、医師の人事考課を導入しました。職員の意欲度・満足度調査を行い、そのうえで人事制度(給与制度)を改革しました。職員の表彰制度も充実させました。医師やリハビリのスタッフなどの職員を増員し、医局の拡充も行いました。

② 医療の質の向上
クオリティ・インディケ이터(QI)を設定して、医療の質の可視化を図り、その推移を医療の質改善チームや診療運営会議で検討するようにしました。また、日本病院会のQI活動に参加し、他院との質の比較ができるようにしました。さらに、日本医療機能評価機構による病院機能評価を在任中の平成22年と今年の2度受審し、特に今年は非常に高い評価を受けました。ハード面では、カルテの全面的な電子化を行いました。また、最新型の320



仁生会創立65周年記念市民公開講座で
講演中の橋本先生(平成23年7月1日)

列CTや3D画像対応型マンモグラフィを導入しました。

③ 医療安全の推進
病院の敷地内全面禁煙化を図りました。また、医療安全管理者や院内感染管理者を配置し、医療安全と院内感染防止に努めました。本館の耐震工事も大規模災害訓練を実施しました。

④ 医師の教育機関としての認定
高知大学医学部学生の臨床実習病院(内科、小児科、整形外科)の指定を受け、多数の学生の受け入れを図りました。また、卒後初期臨床研修病院としての研修内容を充実させ、毎年3〜5名の臨床研修医を受け入れていきます。後期臨床研修施設としては、新たに日本内科学会、日本糖尿病学会、日本甲状腺学会、日本呼吸器学会などの認定教育施設、教育関連病院の指定を受けました。

⑤ 経営の健全化
急性期病棟をDPC適用病棟にしました。また、病棟再編を行い、地域包



糖尿病専門診療の広報で高知新聞社から取材を受ける橋本先生たち(平成25年5月13日)



送別会にて固く握手を交わす橋本浩三名誉院長と堀見忠司院長(平成27年10月27日)

括ケア病棟を新設し、介護療養病棟を医療療養病棟に転換しました。そして、地域連携推進センターを開設して、患者さんの入退院が円滑に行われるようにしました。それにより経営を健全化するとともに、当院が地域の病院や介護施設、高齢者住宅などと連携して、地域包括ケアシステムに貢献できることを目指しています。

このような改革に取り組むことができたのは、職員の皆様のご協力があったからで、そのことに心から感謝しています。お陰様で、この7年半余りを大変楽しく有意義に過ごすことができました。

細木病院に来る以前の高知医科大学、高知大学医学部では、教授あるいは学部長として、専門分野の研究と診療に加え、教育や医局・学部のマネジメントにも、緊張の続く日々を過ごしました。細木病院では、専門分野の診療とともに、院長としての仕事に楽し

く取り組むことができ、良い思い出となる日々でした。診療面では、甲状腺疾患や下垂体疾患を中心とした内分泌疾患、糖尿病や高血圧などの数多くの患者さんが、私を信頼して受診を継続してくださいました。10月末に岡山へ転居したため、このような多くの患者さんの診療を続けることが不可能になり、大変申し訳なく思っております。しかし、この分野の専門の常勤医師や非常勤医師の皆さんが、患者さんの治療をしっかりと継続しますので、安心して受診を継続していただきたいと思います。

これからの日本の医療・介護の状況は、後期高齢者が急増する2025年に向けて大変厳しいものとなります。それに備えるためには、細木病院はまだまだ多くの課題を抱えています。このような大変な時期に院長職を辞することは、責任を回避するよう得心苦しく感じています。しかし、年齢的なこともあり、このまま私が続ける

よりは、新院長に新風を入れていただいた方が良いのではないかと思います。昨年末くらいから新院長の候補者を探してきたところ、堀見忠司先生にご快諾いただきましたので、10月に院長に就任いただいた次第です。堀見先生は、高知医療センター長として、診療や病院運営に大きな功績をあげられた大変有能な先生ですので、細木病院をさらに発展させてくださるものと確信しています。当院には病院の発展を願っている多くの優秀な職員がおります。皆様には堀見先生のご指導のものと、さらに活躍していただきたいと思います。

私は、高知で通算24年半余りを過ごしたことになります。医師になってからの23年間は、岡山大学と米国の大学で過ごしましたが、高知で暮らした期間はそれより長く、真に第二の故郷となりました。それだけに高知を去りたい気持ちがあります。これからも時々高知に来るつもりですので、引き続きお付き合いをよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、細木病院の層のご発展と職員の皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

年	月	細木病院の歩みと橋本先生の主な運営実績等
平成20(2008)年	4月 8月 10月 11月	細木病院院長就任 甲状腺外来を開設 敷地内全面禁煙実施 日本甲状腺学会認定専門医施設に認定
平成21(2009)年	4月 // 7月 10月	Change, Challengeを掲げ病院運営に当たる。 320列CTを四国で初めて導入 急性期病棟がDPC適用になる。 日本糖尿病学会認定教育施設に認定
平成22(2010)年	1月 4月 5月 7月	セカンドオピニオン外来を開設 医師の人事考課を開始 日本医療機能評価機構による3度目の更新認定 電子カルテ導入
平成23(2011)年	8月 // 11月 12月	日本内科学会教育関連病院に認定 本館耐震工事竣工 第二次救急医療施設(救急告示病院)に認定 日本呼吸器学会認定施設に認定
平成24(2012)年	4月 // // 8月	日本高血圧学会専門医認定施設に認定 クオリティー・インディケーター(QI)を設定して医療の質の可視化への取り組み開始 日本内分泌学会名誉会員となる。 職員満足度調査を実施
平成25(2013)年	4月 // 11月	糖尿病センター開設 日本内科学会名誉会員となる。 日本リハビリテーション医学会研修施設に認定
平成26(2014)年	1月 7月 // 9月 10月	新しい人事制度を導入 地域連携推進センター開設 高知県へき地医療支援病院に認定 介護療養病棟を医療療養病棟に転換 地域包括ケア病棟を新設
平成27(2015)年	1月 4月 5月 8月 10月	高知県初の3D画像対応型マンモグラフィ導入 仁生会が社会医療法人になる。 日本医療機能評価機構による4度目の更新認定 総合診療科を開設 細木病院名誉院長就任

細木病院

アロマテラピー講座開催



講師の末田亜梨沙先生



細木病院ポピー病棟（緩和ケア病棟）では、「ホスピス緩和ケア週間」の活動として、10月5日に、アロマテラピストの末田亜梨沙先生をお迎えし、「アロマテラピーの基礎知識とハンド&フットケア実技講座」を開催しました。講座には、細木病院と細木ユニティ病院から、看護師、作業療法士、介護職員、薬剤師など40名が参加し、前半はアロマテラピーの基礎講座を受講しました。その中でローズ

オイルの効能の話がありましたが、価格を聞いて全員が驚いていました（興味のある方は調べてみてください）。後半は、ハンドケア体験者とフットケア体験者に分かれて、ペアを組んで実技体験を行いました。末田先生やアシスタントから直接指導を受けながら、次第に緊張もほぐれ、和気あいあいとした雰囲気となりました（これもアロマテラピー効果でしょうか？）。参加者は「気持ち良くなっ

た」「血行が良くなった」と口々に感想を述べながら体験していました。末田先生によると、アロマテラピーには、「心に対する働き」「体に対する働き」「皮膚に対する働き」の3つの作用があるそうです。また、オイルの香りが脳へ伝わる効能だけでなく、タッチング（触れ合い）により、筋肉の凝りをほぐしたり、心を癒す効果も期待できるとのことでした。ポピー病棟でも患者さんだけでなく、時にはご家族の方へもアロママッサー

ジを実践しています。心身ともにリラックスしていただければ幸いです。

（ポピー病棟師長

片岡 健）

*アロマテラピーとアロマセラピーは同じ意味ですが、前者はフランス語読み、後者は英語読みです。

木イ院
細ユニ病

ユニティコンサート

楽しい午後ひとときを

9月18日、細木ユニティ病院6階ホールにおいて、坂野志麻&クロパン・クロポンのコンサートが開催され、約100名が参加しました。坂野志麻さんは、アコーディオンやトイピアノ、パーカッションの奏者。コンサートの前半は、坂野さんのアコーディオンのソロが披露されました。シャンソンの代表曲『愛の讃歌』が奏でられると、会場は一瞬にしてアコーディオン独特の音色に魅了されました。坂野さんの持っているアコーディオンは、重さかなり10・5キロもあるかなり重たい楽器です。右手側は鍵盤。左手側にはボタンがたくさんあり、コードでの伴奏ができたり、色々な音色を出すことができます。雰囲気に合わせて演奏が可能だそうで

す。蛇腹の開閉で音が出ますが、まるで呼吸をしているかのよう音が奏でられ、とても魅力的な楽器だと感じました。後半は、アコーディオンやトイピアノ、パーカッション、バンジョー、ギターなどを使って、フランス音楽を中心に演奏している3人組、クロパン・クロポンの演奏でした。坂野さんもメンバーの一人です。会場は終始、アコーディオンの特徴的な音色、優しいパングジョーの音色、かわいらしいトイピアノの音色、そして打楽器の軽やかなリズムが融合し



クロパン・クロポンの楽しい演奏（左端が坂野志麻さん）



「そして、いつか」
尾崎麗花



「キングーゴリラ・オス・メス」
島田安昭

10月9日～18日に開催された第19回高知県障害者美術展スピリットアートにおいて、デイケアフレンドの利用者さんの作品が今年も絵画部門で5点入選しました。

木
テ
院
細
ユ
ニ
テ
ィ
病
院

今年もスピリットアートに多数入賞



「アトリエユニティーの先生の
宝具に居ついた寄生虫」
藤原ちか子

「アドレス・高知」からも
スピリットアートに入選

高知市池にある障害者支援施設アドレス・高知（社会福祉法人ミレニウム：理事長 細木秀美）の利用者さんの作品もスピリットアートの絵画部門で2点入選しました。



「板原さん」藤本忠夫



「Friend」中川まゆみ



「墮天使」大原理佳



「海辺」安部葉子



三愛病院の中庭には、小さな神社があります。10月7日秋晴れのもと、細木理事長、深田院長をはじめ、職員30余名が集まる中、三愛神社の秋祭りが執り行われました。土佐神社の宮司さんが読



み上げる祝詞の清々しい響きが、厳粛な空気を醸し出します。患者さんにより良い医療を提供することができるよう、職員一人ひとりが願いを込めた一日でした。
(総務課長 大山 裕)

三愛病院

厳かに…三愛神社秋祭り
今年で10年経ちました

10月9日～25日に開催された第69回県展において、デイケアフレンドの職員、山脇善さんが彫刻部門で昨年の特選に引き続き、推薦されました。

細木病院

デイケアフレンドの職員
第69回県展の彫刻部門で推薦



「座る女」山脇 善



【診療日】

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	○	○	×	×

【診療時間】

[月～土] 8:30～12:30

13:30～17:30

※予約制のため、前日16時までにお電話ください。

小児科の夜間診療は月・水・金に実施しています。

【休診日】

土曜日午後・日曜日・祝日

【住所】

780-0952 高知市塚ノ原6-1

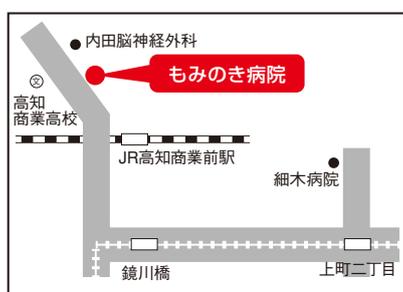
【電話】088-840-2222

【ホームページ】

<http://mominoki-hp.or.jp/>

もみのき病院は、平成10年5月11日に開院し、地域に密着した医療機関を目指して歩んでまいりました。最先端の診断・治療機器を開院当初より導入し、急性期疾患の治療を中心に、そして疾患の早期発見・早期診断のための脳ドックやホスピス病棟の開設も行ってきました。

また、四国で最初に導入したガンマナイフは、17年間で4,500例を超える治療を行って来ました。なかでも、脳卒中の治療は急性期病院のみで終わるものではありません。回復期、維持期、かかりつけ医や在宅でのケア・リハビリと切れ目なく円滑に診療が行われ、さらに二次予防につなげるためには効率的な医療連携体制が必要になってきます。



もみのき病院
イメージキャラクター
もみくん

例を超える治療を行って来ました。なかでも、脳卒中の治療は急性期病院のみで終わるものではありません。回復期、維持期、かかりつけ医や在宅でのケア・リハビリと切れ目なく円滑に診療が行われ、さらに二次予防につなげるためには効率的な医療連携体制が必要になってきます。



医療法人
治久会

もみのき病院

- 脳神経外科 ■ 内科 ■ 小児科
- 眼科 ■ 緩和ケア ■ 放射線科
- リハビリテーション科

地域連携医療機関のご紹介

あなたとあゆむ

＊積善会ニュース NO.87

有限会社 積善会

〒780-0926 高知市大膳町 5-6 細木ビル 5F
TEL : 088-873-0146
FAX : 088-873-0147

《売店》

細木病院 新館地下
088-822-7211(代)/内線1610
三愛病院 1階
088-845-5291(代)/内線260

初めまして ^{ペッパー} pepper です!

ボクは空を飛ぶことも、
重たいものも持てませんが、
皆様の心を和やかにします。
皆様とお会えるのを
楽しみにしています。



11月18日(水)
～30日(月)に
細木病院にお邪魔します。ぜひ
会いに来てね!
(土・日・祝日は
お休みします)

積善会に新しい仲間ができました。

年賀切手・年賀はがき 各種 販売中!!



*年賀切手55円(寄付金付き)は50枚単位、
52円は100枚単位で受け付けています。

(有)積善会が提供するインターネットショップ!
Zenショップ! **新製品も続々登場!!**
ぜひ一度ご覧ください、お待ちしております。



モバイルサイトはこちらから →



www.zen-shop.jp



細木病院

デイサービス・グループホームさくらんぼ
第9回さくらんぼ祭り開催

10月3日、デイサービス・グループホームさくらんぼの第9回さくらんぼ祭りが開催されました。利用者さんやご家族、地域の方との交流の場として毎年恒例の大切な行事となっています。今年もバザーや出店のほか、参加される皆様に喜んでいただける催し物をスタッフみんなで検討し、オカリナ演奏、上町ミニデイの踊り、細木病院グループのよさこい踊りを企画しました。関係の皆様はそれぞれ快く引き受けてくださいました。

利用者さんには、当日は最前列で楽しんでいただき



踊りは大盛り上がりとなりました。利用者さんは「上手やったねえ」と手作りのメダルを踊り子に掛けていました。皆様のご協力によって、今年もさくらんぼ祭りを盛大に開催することができて感謝の気持ちでいっぱいです。大事な交流の場として来年も頑張つて開催したいと思えます。

(グループホーム さくらんぼ主任 小原純子)

細木ユニティ病院

音楽療法コンサートのご案内

第348回 ◆ギターの音色を聴きながら

12月11日(金) 午後2時

出演：輪音(佐伯北斗、池田葉子)

輪音は、佐伯北斗さん(ギター)と池田葉子さん(ギター、ウッドベース)による重音集団です。クラシックギターデュオを中心に、ループマシンを使用。演奏した音を再生しながら、さらに音を重ねて弾くという手法で、二人の音を何層にも重ねて演奏しています。

音楽には人の心を癒し元気づける力があります。音楽療法は、音楽の持つ力を活用しながら、心身の健康維持・増進、生活の質の向上を促進する療法です。

細木ユニティ病院では、月2回ほどS館6階で音楽療法コンサートを開催しています。無料で公開していますので、一般の方もお気軽にお越しください。*駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



身体障害者手帳または

ソーシャルワーカーからのミニ情報

『路面電車・バス運賃割引』について



療育手帳をお持ちの方は、以前より、高知県内で運行されている路面電車とバス(高速バスを除く)の運賃に割引サービスがあります。このたび、10月1日より、精神障害者福祉手帳をお持ちの方にも、運賃の割引サービスが追加されました。精神障害者福祉手帳をお持ちの本人は、運賃が半額となります。さらに、1級の方の介助者は、同乗時のみ半額となります。運賃の支払時や定期券などの購入時に手帳を提示する必要があります。なお、年齢や所得、距離に制限はありません。詳しい内容等につきましては、細木病院患者サポート室または各市町村福祉担当窓口等へお問い合わせください。

辻美知子

